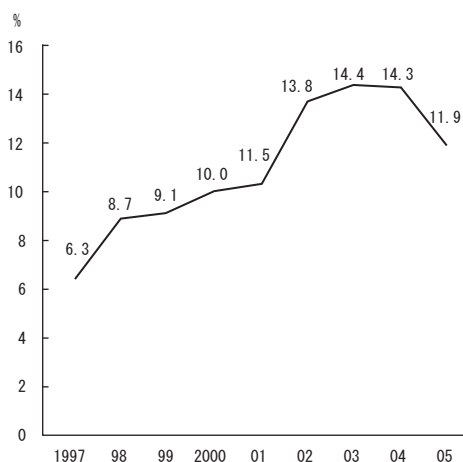


21世紀に入り、地方分権が現実のものとなってきました。地域のことは地域で考え、行動する時代となるなかでは、地域の実態に即し、実現性のある地域計画や将来ビジョンを描くことが求められています。徹底した実態調査をベースに、自らの地域が置かれた位置や地域を取り巻く環境を客観的に分析・判断し、真に地域の活力を高められるような地域計画の立案を行います。

# THEME 8

## DATAS 都心オフィスビルの空室率



注) 福岡、北九州、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島7都市の平均  
資料) 生駒データサービスシステム「不動産白書」  
生駒シービー・リチャードエリス「OFFICE MARKET REPORT」

## 都市・地域計画

### ● 調査の具体的内容

- 1) 中心市街地の活性化や都心構想・地区構想に関する調査
  - ・市街地、都心部の諸機能の立地動向の分析
  - ・都市再開発、大型施設の立地等が地域経済に与える効果の分析
- 2) 平成の大合併後の総合計画の策定に関する調査
  - ・豊富な統計データを駆使した現状と課題の分析及び将来像の設定
  - ・ワークショップ・市民会議の開催等による住民参加の促進
  - ・住民アンケートの実施、分析
  - ・各自治体の実情に柔軟に対応した行財政シミュレーション
- 3) 九州ブロックの将来戦略策定に関する調査
  - ・九州の課題やポテンシャル、経済社会を取り巻く動向の分析
  - ・九州の実態を踏まえた将来像と戦略の設定

### ● 調査のポイント

- ・地域に根ざしたシンクタンクだからこそできる詳細かつ徹底した実態調査とその結果に基づく実効性のある計画策定
- ・行政担当者、企業・団体、住民などと協働しながらの、まちづくり研究会や協議会、ワークショップの運営
- ・これまでに行ってきた各自治体の総合計画・新市建設計画、都心活性化プラン、九州の将来ビジョン等の策定ノウハウの活用
- ・アジア経済のダイナミズムを踏まえた今後の九州の姿を展望

### ● これまでの実績

- ・島原市市勢振興計画策定基礎調査（平成18年度：島原市）
- ・松浦市総合計画策定支援（平成18年度：松浦市）
- ・「新・福岡都心構想」策定支援（平成17年度：福岡市）
- ・「都心衰退」その実態と再生の芽～2006年版九州経済白書～（平成17年度：自主研究）
- ・くまもと・九州アジア戦略策定支援（平成17・18年度：熊本県）
- ・香椎副都心地区における業務施設立地戦略策定支援（平成17・18年度：都市再生機構）
- ・九州地方開発促進計画に係る調査（平成16年度：国土交通省）
- ・九州北部広域都市圏（仮称）の形成に向けた基礎的調査（平成16年度：九州地方整備局）
- ・大牟田市新総合計画基本構想策定支援（平成16・17年度：大牟田市）
- ・21世紀の九州地域戦略策定支援（平成14年度：九州経済連合会）
- ・新しい九州の一体的発展のランドデザイン策定支援（平成13年度：九州経済同友会）